

ⅢⅢⅢ 総会報告 ⅢⅢⅢ

◆2022年度日本マイクロ重力応用学会総会報告

去る2022年3月28日(月), オンライン開催において2022年度総会が開催された。以下に議事を報告いたします。

1. 会長挨拶
2. 選挙結果報告

役員選挙結果

<得票総数 80件> 有効票 79件、白票 1件

候補者氏名 (五十音順)	所属	得票
織田 裕久	宇宙航空研究開発機構	74
白鳥 英	東京都市大学	74
鈴木 進補	早稲田大学	76
留目 一英	(株)SPACE WALKER	77
野倉 正樹	(株)IHI 検査計測	76
橋本 望	北海道大学	76
橋本 博文	宇宙航空研究開発機構	79
三上 真人	山口大学	78
水口 尚	琉球大学	74
山中 淳平	名古屋市立大学	76

3. 役員の選任
4. 新役員挨拶

<新役員名簿>

会長 野村 浩司 (日本大学)
副会長 今井 良二 (室蘭工業大学)
庶務 織田 裕久 (宇宙航空研究開発機構) ★
会計 橋本 望 (北海道大学) ★
理事 宇宙惑星居住科学連合連携
橋本博文 (宇宙航空研究開発機構) ★
学会顕彰 三上真人 (山口大学) ★
企画・戦略
塚田隆夫 (東北大学)
チャレンジ2022
留目一英 (株)SPACE WALKER) ★
ペイロード・地上実験
野倉正樹 (株)IHI 検査計測) ★
学術会議対応 (若手の会) /JASMAC 学生表彰
白鳥英 (東京都市大学) ★
JASMAC-34 開催
山中淳平 (名古屋市立大学) ★
JASMAC-35 開催
水口尚 (琉球大学) ★
40周年記念企画
岡野泰則 (大阪大学)
広報 (HP・SNS・他)
鈴木進補 (早稲田大学) ★
白鳥英 (東京都市大学) ★
織田裕久 (宇宙航空研究開発機構) ★

監事 (会計監査)

渡邊 勇基 (株)エイ・イー・エス) ★

無印・・・2021年4月～2023年3月

★印・・・2022年4月～2024年3月

<賛助会員企業一覧>

【3口会員】 1社 (株)IHI エアロスペース富岡事業所
【1口会員】 2社 ダイヤモンドエアサービス(株)
(財)日本宇宙フォーラム

<2021年度会員異動報告>

入会: 正会員 2名
学生会員 20名 計 22名
退会: 正会員 3名
学生会員 19名 計 22名
除名 正会員 6名
学生会員 0名 計 6名

<2022年3月20日現在会員数>

正会員 127名
学生会員 34名
永年会員* 14名
顧問 4名
賛助会員 3件 (7口) 計 179名、3件

■2021年度活動報告■

活動について各担当理事より事業報告があった。

【協賛報告】2021年1月1日-12月31日

承諾日 会議名/主催団体/会期
1/8 第18回 HASTIC 学術技術講演会
《オンライン開催》
北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC)
2021.3.3
4/1 第18回流動ダイナミクスに関する国際会議
(ICFD2021) 《オンライン開催》
ICFD 東北大学 流体科学研究所 2021.10.27-29
5/27 第41回日本熱物性シンポジウム
《オンライン開催》日本熱物性 2021.10.25-27
7/5 第59回燃焼シンポジウム《オンライン開催》
日本燃焼学会 2021.11.22-24
7/6 第50回結晶成長国内会議 (JCCG-50)
《オンライン開催》日本結晶成長学会
2021.10.27-29
7/12 13th Asian Microgravity Symposium- 2022
(AMS2022) 2022.10.17-21

【各委員会事業】

- 1月22日 第122回編集委員会
1月29日 新旧幹部委員会
3月10日 2021年度理事会前打ち合わせ
3月10日 国連宇宙部打ち合わせ
3月15日 JASMAC-33 打ち合わせ
3月22日 総会予行練習
3月26日 2021年度理事会・総会
4月9日 編集委員会事前打ち合わせ
4月14日 第123回編集委員会
4月21日-6月16日 (Online開催) 国連宇宙部主催
「Series of Webinars on Access to
Space for All -Hypergravity/
Microgravity Track」に講演者派遣
5月10日 JASMAC-33 打ち合わせ
5月17日 JASMAC-33 実行委員会
6月18日 編集関係打ち合わせ
7月8日 編集委員会事前打ち合わせ
7月12日 第124回編集委員会
8月27日 JASMAC-33 実行委員会
10月6日 表彰式打ち合わせ
10月13-15日 JASMAC-33 開催
10月14日 2021年秋季理事会・総会
10月25日 第125回編集委員会
11月16日 幹部委員会 1
11月25日 幹部委員会 2

【学会誌発行事業】

- E-journal 「IJMSA」vol.37 No.1~4 (2020) の発行 (j-stage)
Vol.38-1 (2021.1)
・ Ice Crystal Growth Experiments Conducted in the Kibo of International Space Station / Yoshinori FURUKAWA, et.al.
・ Ground-Based Experiment on Reducing Boil-Off Gas by Jet Mixing for Future Cryogenic Propulsion System / Kazuaki NISHIDA, et.al.
・ Preparation of Large-Volume Crystal of Cellulase Under Microgravity to Investigate the Mechanism of Thermal Stabilization / Sora YAMAGUCHI, et.al.
Vol.38-2 (2021.4)
・ On Questions Raised by Microgravity Liquid-Jet-Instability Observations/Akira UMEMURA
・ Lattice Boltzmann Simulation for Sloshing in a Circular Tank under Microgravity Conditions/Misaki KOJIMA and Toshio TAGAWA
・ A Continuous Hydrogen Reduction Process for the Production of Water on the Moon/Eri KUMAI, et.al.
・ Research on Risk of Dust Explosions in Microgravity for Lunar and Planetary Exploration/Wooyung KIM, et.al.
Vol.38-3 (2021.7)
・ Efficient Implementation of Two-Phase Flow Solver Based on THINC/SW and S-CLSVOF on Unstructured Meshes/Suguru SHIRATORI, et.al.
・ Required Diffusion Time for in-situ Measurement of Diffusion

Coefficients in Liquid Alloys by X-ray Fluorescence Analysis/Yoshihiro KOBAYASHI, et.al.

・ Spectral Processing and Intensity Ratio Measurement Using X-ray Fluorescence Analysis in Liquid Alloys/Reina YAMATAKE, et.al.

・ Effects of Reflector Geometry and Sample Radius on Levitation Stability in Acoustic Field/Manami MURATA, Koji HASEGAWA

・ Salivary Stress Biomarkers in Flight Crew During Space Mission to assess Stress Level: A systematic Review/Shohreh GHASEMI, et.al.

Vol.38-4 (2021.10)

・ Machine Learning of Phase Analysis-Unwrapping Procedure for Time Series of Interference Fringe Intensity/Isamu ORIKASA, et.al.

・ Phase Constitution of DyMnO₃ formed by Container less Processing in Dy₂O₃-Mn₂O₃ System/You HAYASAKA, et.al.

・ Interaction between Charged Particles Demonstrated in Microgravity Experiments of Dusty Plasmas/Kazuo TAKAHASHI, et.al.

●Vol.1-No.1 から現在まで全ての論文を J-stage 公開済み

【編集委員会事業】

論文賞の推薦：

編集委員会では、過去5年間に発行された論文から推薦を行っている。今年度は、JASMA 論文賞の候補として2論文を推薦した。

インパクトファクターの取得について：

過去2年の引用をしてもらえるようなシステムにし、査読者に引用のチェックをしてもらい、J-stage に全ての論文を掲載し、確実に引用数が増えている。現状はあともう少しで取れそうと考えている。引き続き、引用件数増加の努力をしていく。

編集方針の変更：

J-STAGE に登録以降海外からの投稿論文も増えてきており、今後国際論文誌としての立場を確立する目的で、特定分野の特集を毎号組むのではなく各号に幾つかの分野の論文を掲載する編集方針に変更した。なお、特定の分野、研究プロジェクトで特集が組むことができれば随時組み込んでいく。

【表彰関係事業】

以下 JASMAC-33 にて表彰した。

1) 2021年度 学会賞：塚本 勝男 (東北大学教授)

2) 2021年度 論文賞：

齊藤 允教

「日独共同観測ロケットを用いた微小重力実験「Phoenix-2」における冷炎ダイナミクスの解明」

椎木 政人

「シアーセルと安定密度配置および蛍光 X 線による液体金属の拡散係数測定と拡散機構解明」

1) JASMAC-33 学生口頭発表最優秀賞受賞：

小島 岬 (東京都立大学)

「格子ボルツマン法とフェーズフィールド法による

相変化解析手法の開発」

小林 由央（早稲田大学）

「蛍光 X 線分析を用いた液体 Sn 中における Bi の不純物拡散係数測定」

牧 晴也（東京都立大学）

「濡れ性を考慮したマランゴニ対流の気液二相流数値解析に向けた手法検討」

松川直生（岐阜大学）

「炭素繊維配合方向の異なる炭素繊維強化プラスチックの下方燃え拡がり挙動」

【会計報告】

<2021 年度決算>

2021 年度決算、田辺理事（会計担当）および渡邊監事による監査結果について報告され、質疑応答の後承認された。

<2022 年度予算>

2022 年度予算案が、橋本理事（新会計担当）より示され、質疑応答の後承認された。

【会則変更について】

正会員および学生会員へのサービス向上を目的とし、学術講演会に参加した場合の次年度の会員資格継続手続きの負担軽減を図るため、第 9 章、第 33 条、但し書きの一部改正を提案し、承認された。

ただし、以下に該当するものはその年会費を免除する。

(1) 正会員のうち、別途理事会が定める内規により永年会員となったもの

(2) 正会員および学生会員のうち、前年度の学術講演会に正規参加費で参加したもの

■2022 年度活動計画■

【イベント事業】

JASMAC-34

日時：2022 年 9 月 14 日（水）～9 月 16 日（金）

場所：名古屋市立大学

実行委員長：山中淳平（名古屋市立大学）

【表彰関係事業】

2022 年度日本マイクログラビティ応用学会学会賞公募

2022 年度日本マイクログラビティ応用学会論文賞公募

2022 年度日本マイクログラビティ応用学会研究奨励賞公募

2022 年度日本マイクログラビティ応用学会学会若手奨励賞公募

【JASMA 活性化検討事業】

2022 年度の分科会の募集は休止する。

若手の会・女性研究者の活動活性化を支援する。

【広報事業】

インパクトファクター取得、会員数増強、投稿数増加、他、海外の方々に向けて、ホームページ、Twitter、YouTube など SNS にて配信を強化。

【学会誌発行事業】

1) e-journal「IJMSA」Vol.39 No.1～4 (2022) の発行 (Web)

Vol.39-1 1 月末（発行済み）

Vol.39-2 4 月末

Vol.39-3 7 月末

Vol.39-4 10 月末

インパクトファクター取得に向けた活動を継続する。

Scopus へ登載申請予定。